

GIDWR 岐阜県感染症発生動向調査週報 2014 年第 21 週 (5/19~5/25)

Gifu Infectious Diseases Weekly Report 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

- ◇ インフルエンザは減少し、県全体で定点当たり 1.0 人を下回りました。
- ◇ A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎が増加傾向です。
- ◇ 6 月 1 日~6 月 7 日は HIV 検査普及週間です。→トピックス

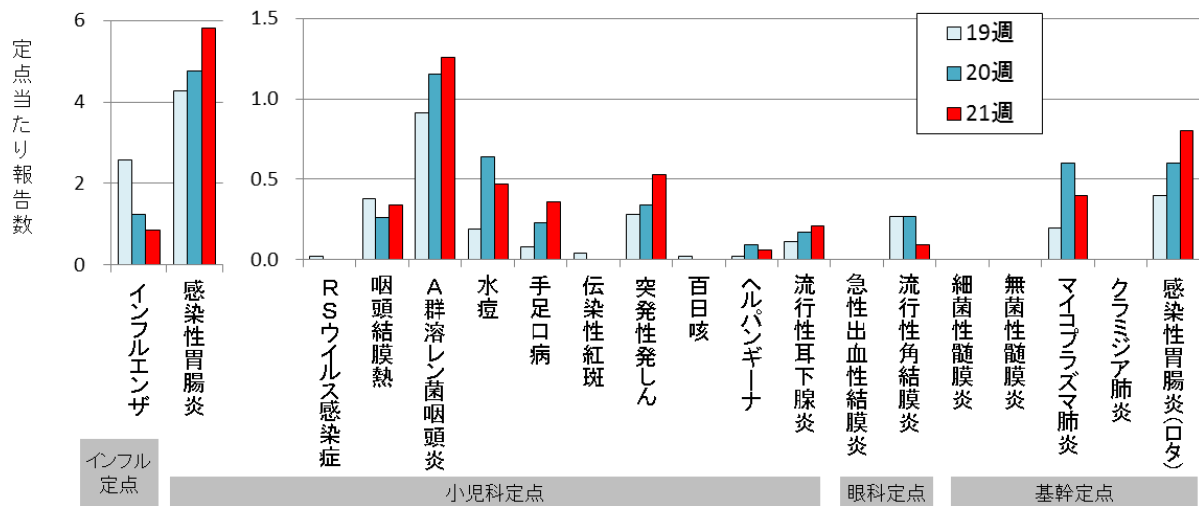
■ 定点把握対象疾患（インフルエンザ 定点:87 か所、小児科定点:53 か所、眼科定点:11 か所、基幹定点:5 か所）

● 警報・注意報レベルの保健所がある疾患

	疾患名	保健所名（定点当たり報告数）
警報レベル	なし	—
注意報レベル	なし	—

● 直近 3 週の比較

・ 感染性胃腸炎、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎が増加しています。



■ 全数把握対象疾患

● 今週届出分

- 1 類感染症：なし
- 2 類感染症：結核 9 例
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 2 例（O157：1 例、O26：1 例）
- 4 類感染症：レジオネラ症 1 例
- 5 類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症 1 例

● 2014 年累計

1 類感染症	なし		
2 類感染症	結核	157 例	
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	9 例	
4 類感染症	E 型肝炎	3 例	デング熱 1 例
	A 型肝炎	1 例	マラリア 1 例
	つつが虫病	1 例	レジオネラ症 7 例
5 類感染症	アメーバ赤痢	4 例	侵襲性肺炎球菌感染症 10 例
	急性脳炎	1 例	梅毒 2 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例
	後天性免疫不全症候群	5 例	風しん 1 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4 例	麻しん 2 例

全国情報は国立感染症研究所感染症疫学センターの HP をご覧ください。

感染症発生動向調査週報 (IDWR) <http://www.nih.go.jp/niid/ja/idwr.html>

■トピックス

《後天性免疫不全症候群（エイズ）》



◆ 6月1日～6月7日はHIV検査普及週間です

厚生労働省では、毎年6月1日～7日を「HIV検査普及週間」とし、HIV検査の普及を図る機会としています。

HIV検査は、県内の保健所で無料・匿名で受けることができます。結果が陰性の場合には即日お知らせできる迅速検査を導入しています。検査を受けるには電話などで予約が必要です。詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kenko-fukushi/yaku-eisei-kansen/kansensho/sonota/aids-advice.data/chirashi260401.pdf> (保健医療課 HP)

HIVに感染していても、AIDS発症前にHIV感染を早期発見できれば、適切な治療によりAIDS発症を抑えることができます。

～感染の心配がある方は、この機会にぜひ検査を受けることをおすすめします～



◆ HIV感染者・AIDS患者の発生状況

日本では、年間約1,500人の新規HIV感染者及び新規AIDS患者が報告されています。2013年の新規報告数は、過去最多となる1,590人（HIV感染者1,106人、AIDS患者484人）でした。その中で多数を占めるのは日本国籍男性で、感染経路としては同性間の性的接触が過半数を占めています。

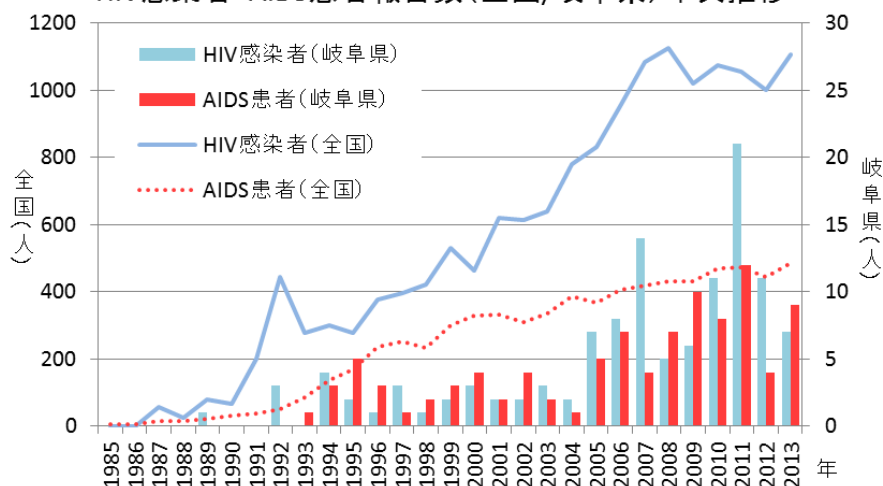
岐阜県では、2013年、HIV患者7人、AIDS患者9人の報告がありました。このうち日本国籍男性が15人、同性間性的接触を感染経路とするものが13人と多数を占め、全国と同様の傾向を示しています。

今後、特にMSM（男性と性行為を行う人）に対して広くHIV検査の普及を図り、早期発見・早期治療によりAIDS発症者を減少させることが重要となっています。

◆ エイズとは？

HIV（ヒト免疫不全ウイルス：Human Immunodeficiency Virus）の感染により、免疫機能が低下した結果、感染症などの病気を発症した状態をエイズ（AIDS：Acquired Immunodeficiency Syndrome、後天性免疫不全症候群）といいます。「HIV

HIV感染者・AIDS患者報告数(全国/岐阜県)年次推移

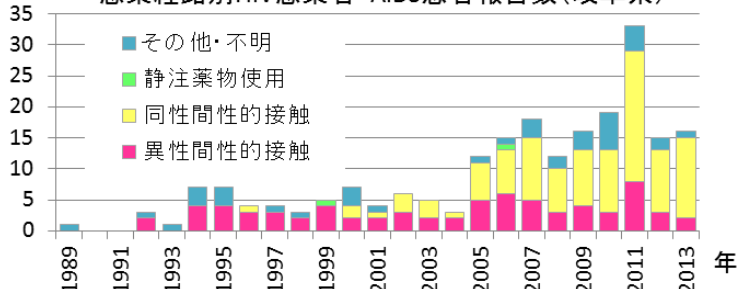


HIV感染者：初回報告時にHIVに感染しているがAIDSを発症していないもの
AIDS患者：初回報告時にAIDSを発症しているもの

岐阜県のHIV感染者・AIDS患者報告数

	合計	男	女
2013年新規	16人	15人	1人
HIV感染者	7人	7人	0人
AIDS患者	9人	8人	1人
1989年からの累計	216人	194人	22人
HIV感染者	119人	102人	17人
AIDS患者	97人	92人	5人

感染経路別HIV感染者・AIDS患者報告数(岐阜県)



感染＝エイズ」ではなく、HIVに感染した後、自覚症状のない状態が平均8～10年続き、徐々に免疫力が低下して様々な病気を発症し、エイズの状態になります。

感染症法における取扱い

後天性免疫不全症候群は、感染症法において5類感染症全数把握対象疾患に定められており、患者を診断した医師は保健所に届け出なければなりません。届出基準・届出様式はこちらをご覧ください。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kenko-fukushi/yaku-eisei-kansen/kansensho/hasseidoko/kansenshouhou-kijun.html> (保健医療課 HP)

岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）HP

<http://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/kenko-fukushi/hokekan/kansensyo/>